

JAうおづ 農協だより

Good!



JAグループ
耕そう、大地と地域の未来。



うおづ

1

2026 January
Vol.705

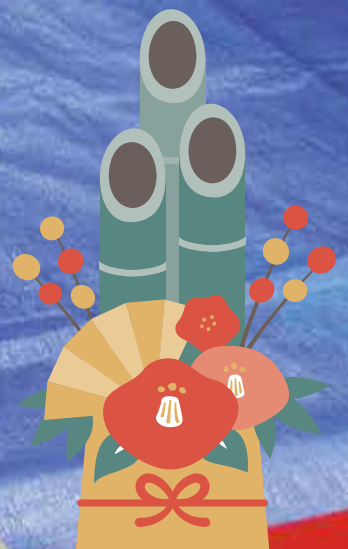


●特集 | P2-4 年頭のご挨拶

P6 | NEWS & TOPICS

P10 | 女性部

P11 | 食農教育



加積コミュニティセンター
もちつき体験

年頭のご挨拶



代表理事組合長

松崎 映憲

新年明けましておめでとうございます。

皆様には令和8年、午（うま）年の新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は「JAうおづ」に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚く感謝・お礼申し上げる次第でございます。

昨年10月に高市新政権が発足し、これまでのコメの増産政策から一転、需要に応じた生産が原則であり「減産」に急転換することになりました。

農業の現状は、農業従事者の高齢化や世代交代における後継者不足に加え、原材料及び物流コストの上昇を受け、農業機械をはじめ肥料・農薬・燃料などの生産資材価格の高騰による厳しい環境に直面しています。

代表理事組合長	松崎 映憲
副組合長理事	長谷川 宗一
常務理事	高島 勝
常務理事	小坂 茂次郎



その対応と同時に、担い手・営農組織に向けて、営農提案を行い、農地管理の集約化を進めていくためにも、農地管理システム（Z-GIS）を活用し、作業の効率化を図りつつ、生産コストの低減に向けて努力してまいります。

今年は、JAうおづ発足61年目、組合員の皆様の多様な要望に耳を傾け、「JAうおづ」の経営理念であります「貢献と奉仕」、「創造と実践」、「信頼と共生」を柱に、しっかりと取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「JAうおづ」は、組合員・地域の皆様に支えられ生かされており、常に感謝の気持ちで行動に移し、思いを伝えていく努力をしています。いつまでも愛される、頼りにされる「JAうおづ」となるよう、役職員一体となり、全力で取り組んでいきます。

結びに、組合員・地域の皆様の今年一年のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



監事	監事	常勤監事	代表監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
高倉 満広	山本 勇	川岸 勇一	溝口 芳雄	島澤 大輔	大澤 幸一	谷口 敏子	関口 春樹	宮坂希宗子	中山 彦信	谷口 一彦	坂本 光張	林 清唯

年頭のご挨拶



青壮年部 部長

高慶 一雄



新年、明けましておめでとうござ
います。

皆様におかれましては謹んで新年
のお慶びを申し上げます。

また、日ごろから青壮年部の活
動に對しましてご理解とご協力を
賜り感謝申し上げます。

さて、年々過酷さを増す気象環
境の中で、昨年も雨が降らない日が
長く続き高温乾燥という厳しい夏
になり、農作物を生産する現場で
も水の確保に大変苦労されたこと
と思います。

そういった中でも出荷された米
の品質は1等米比率が86%と、高
い水準で品質を保てたことは生産
者の皆様のご努力の賜物と思っ
ております。益々厳しくなるであ
る気象環境の中でも昨年の結果を
糧に、今後とも高品質な農作物を
いつまでも生産を維持し、農業と
いう産業を守っていかねばと
考えているところです。

一昨年から令和の米騒動に見
られる自給バランスの不安感から、
食糧確保のために乱れた流通の問
題もありますが、生産側は命の源
である食料を生産しているという

使命感を持ち、高品質な作物を作
ることに徹することが基本だと
思っておりますし、安定的に品質
が維持されれば信頼にも繋がり、
農業経営も安定します。

幸いにも近年ようやく農産物価
格も見直され、上昇傾向にあると
感じていますし、農業所得も増加
しているかと思っております。し
かし、所詮市場原理によって決ま
る農産物価格がもっと安定的に維
持できるよう整えばと思っており、
それには生産側も安定した数量を
供給する必要があります。

近い将来やってくるであろう生
産量の減少をいかに最小限に留め
るかになりますが、やり方次第で
可能性が広がる魅力ある楽しい農
業を次世代に広げ、地域一丸と
なつて生産を維持できるよう青壮
年部活動を通じて発信できればと
思っております。

最後になりますが、本年も私た
ち青壮年部にならぬご支援、ご
鞭撻をお願いするとともに、皆様
のご健康とご多幸をお祈り申し上
げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



女性部 部長

畠山 久美子



新年あけましておめでとうござ
います。皆様方におかれましては

お健やかに新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。また、日頃
より女性部活動に對し、多大なる
ご支援、ご協力をいただき感謝申
し上げます。

今、支部活動は3支部となり、
会員の高齢化も常態化し活動が減
少しつつあります。

しかしながら、農業祭での「焼き
つけ」の販売が好調だったことは
私たち女性部にとり、とても励み
になりました。焼きつけを販売し
ながら、来年は数量を増やしたら

どうか、焼き方はこうしたら良い
のではないかと、と部員の皆さんか
らの声が聞こえてきました。

初めて焼いた方もいて、少しい
ま多くの部員にかかわってもらい

たい、いろんな人に焼きつけの味を
知ってもらえたらと思っています。

2022年より取り組み始めた
ペットボトルキャップ回収活動も
4年が経過しました。地道な活動
ですが、生まれかわったエコフラ
ポットに寄せ植えをして楽しんで
います。

これからも地域の中で自分たち
が豊かに、無理なく活動が続け
ていきたいと思っています。そして、次
世代の若い人たちに繋げていける
ように、活動していきたいと思
います。

最後になりますが、本年も私
たち女性部にならぬご支援を賜り
ますようお願い申し上げますと
ともに、皆様方のご健康とご多幸を
お祈りいたします。

JAうおづ


マイカーローン

特別金利キャンペーン

お取り扱い期間
令和7年10月1日～令和8年3月31日

店頭標準金利

最優遇金利

変動金利・保証料込

年2.30%

年1.30%

変動金利・保証料込

軽減金利を適用するには、以下の金利引き下げ条件に該当する必要があります

金利引き下げ条件

最大1.00%引き下げ

- 給与振込(返済額以上)、または年金振込指定
- 当JAにて住宅ローン借入中の方(延滞なし)
- 自動車・バイク(中古車含む)を当JAから購入される方
- JAカード加入者または確約者

24時間
仮審査申込可能

便利なWeb申込みは
こちらから！




ご利用 いただける方	・お借入時の年齢が18歳以上、最終償還時の年齢が80歳未満の方	ご返済方法	元利均等返済(ボーナス返済併用が可能です)
	・新卒者の方は就職先の内定が確定している方	担保・保証人	当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきますので、原則、担保、保証人は不要です
お使いみち	・勤続(または営業)し、安定した収入を得ている方	お申込みに必要な書類	・運転免許証
	・当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方		・健康保険証
お借入れ金額	・自動車、バイク購入資金(営業車は除く)	その他	・所得証明書、または源泉徴収票
	・点検、修理、車検、購入に付帯する諸費用		・見積書、または契約書
お借入れ期間	・運転免許の取得費用		
	・車庫建築費用(100万円以内)		
	10万円以上1,000万円以内(所要資金の範囲以内)		
	6カ月以上15年以内		

【ご注意ください】

- ☐ ローンのご利用は、JA所定の資格・要件を満たす方に限らせていただきます。(店舗に商品説明書をご用意しております)
- ☐ ご返済の試算は、JA本店または各支店で承ります
- ☐ ご返済の遅延が発生した場合には、引下げ金利の適用を中止する場合があります。
- ☐ 保証会社の審査結果によっては、ご希望に添えないこともございますので、予めご了承ください。

お気軽にお問合せください

JAうおづ 東部支店 ☎22-0695 北部支店 ☎22-0387

NEWS & TOPICS

JAうおづに関するニュースリリースやトピックスをお届けします。

NEWS.01

11/25

全量合格に格付け
大豆初検査

11月25日、令和7年産大豆の初検査が中島倉庫で行われました。今年は青立ちの影響で収穫が遅れ、昨年より10日ほど遅れての実施となりました。収量減や品質低下が懸念されましたが、30kg袋で「エンレイ」238袋、「シュウレイ」338袋の全量が合格に格付けされました。

2

農産を
ゼロに

🍲

NEWS.03

11/27

「富富富」のさらなる作付け増を
令和7年産「富富富」反省会・令和
8年産作付希望者説明会

説明をする前米穀課長

11月27日、営農・経済センターで令和7年産「富富富」反省会・令和8年産作付希望者説明会が開催され、生産者34名が参加しました。はじめに県新川農林振興センターの上原仁班長から令和7年産「富富富」の新川地区管内の作柄・品質について、穂数、粉数は確保したものの、登熟歩合、粒重が小さく収量はやや減少との説明がありました。また、次年度対策等についても説明がありました。次に、全農富山県本部の前康彦米穀課長から「富富富」の販売状況について説明がありました。「コシヒカリ」と並び、「富富富」を富山県を代表する品種にするよう取り組んでいきたいものです。

2

農産を
ゼロに

🍲

NEWS.02

11/26

葉菜部会圃場巡回



生育状況を確認

11月26日、JAうおづ葉菜部会は圃場巡回を行い、部会員2名と市場担当者1名、県新川農林振興センター担当者1名、魚津市地域おこし協力隊員1名、JAうおづ担当者が参加しました。この日は魚津市道下地区にある小松菜とカブのビニールハウス2カ所を巡回し、品質や生育状況、病害虫の発生状況等を確認しました。その後、営農・経済センターにて市場担当者より現在の市場状況について、県新川農林振興センター担当者より冬の気候と小松菜、中小カブの品種について説明がありました。小松菜の収穫は12月20日頃から始まり、富山市場を中心に2月下旬頃まで出荷される予定です。

15

冬の農作業も
きつそう

🌱

アグリチャレンジ2025



12月5日から6日にかけて、農業機械展示会「アグリチャレンジ2025」が富山市のテクノホールで開催されました。この「アグリチャレンジ」は、担い手経営体に向け「農業経営の基盤強化」を目的に開催しており、10回目となる今回は、機械導入コスト低減に向けた、メンテナンス付きコンバインリースや農機レンタル、農業用ドローンの最新農業機械や水田水管理機器、最新&お買い得農機などの紹介・展示があり、多くの来場者でにぎわいました。



令和7年産米の実績と動向について 第2回魚津市農協生産団体代表者 会議・講演会



最近の米穀情勢について高嶋課長代理の講演

12月12日、営農・経済センターで令和7年度第2回魚津市農協生産団体代表者会議・講演会が開催されました。各地区の生産組合長や農業関係組織の代表者、北陸農政局富山県拠点、県新川農林振興センター、魚津市、JAうおづ役職員ら50名が参加しました。会議では、「令和7年産米の実績」「令和7年度経営所得安定対策交付金」「令和8年産米生産数量目標配分」について説明がありました。

その後の講演会では、全農富山県本部米穀園芸部米穀課の高嶋達哉課長代理が「最近の米穀情勢について」講演されました。



まちの交通安全を見守る カーブミラー設置



本新



貝田新

11月27日、JA共済連富山とJAうおづは、本新・貝田新の2カ所にカーブミラーを設置しました。この取り組みは、JA共済連富山が行っている地域貢献活動のひとつで、地域の豊かな環境づくりと交通事故の未然防止や交通事故の減少を願い、実施されています。



富富富の作付け200haを目指して 魚津市の水稲作付面積の推移

富山県は、「温暖化に対応した米産地」を目指しています。高温に強い品種特性があり、品質も安定している「富富富」への栽培面積の拡大を進めています。

富山県の水稲品種別作付面積の推移

(単位：ha)

品 種 名		令和3年産	令和4年産	令和5年産	令和6年産	令和7年産
うるち米	コシヒカリ	25,300	24,800	24,300	23,000	22,360
	てんたかく	3,700	3,600	3,400	3,500	3,600
	富 富 富	1,392	1,445	1,640	2,355	2,805
	てんこもり	2,100	2,000	2,100	2,300	2,300
	そ の 他	2,012	1,865	1,971	2,025	2,713
	酒造好適米	701	713	693	707	718
	小 計	35,205	34,423	34,104	33,887	34,496
もち米		1,095	1,077	1,096	1,113	1,064
合 計		36,300	35,500	35,200	35,000	35,560

富山県米麦改良協会 米データより

富山県米麦改良協会がホームページに掲載している資料では、令和7年産の水稲作付面積は35,560haとなっており、最も作付けの多い品種はコシヒカリで22,360ha（うるち米に占める構成比64.8%）となっています。富富富は2,805ha（同8.1%）となっています。令和3年産と比べてみると、コシヒカリは25,300ha（71.9%）、富富富は1,392ha（4.0%）となっており、コシヒカリの構成比の減少分の大半が富富富の増加になっています。「富富富戦略推進会議」では富富富の需要が拡大していることから、令和10年までに栽培面積10,000ha、生産量50,000 tを目標にしています。

魚津市の水稲品種別作付面積の推移

(単位：ha)

	品 種 名	平成28年産	平成29年産	平成30年産	令和1年産	令和2年産	令和3年産	令和4年産	令和5年産	令和6年産	令和7年産
うるち米	コシヒカリ	1,146	1,106	1,090	1,041	1,012	1,001	927	910	866	850
	てんたかく	72	72	66	59	61	53	54	51	56	40
	富 富 富	—	—	19	46	69	72	91	107	150	174
	てんこもり	34	15	16	31	43	48	68	64	61	69
	ゆうだい21	—	24	33	32	12	11	18	18	19	21
	そ の 他	2	6	1	1	1	2	2	1	1	4
	小 計	1,254	1,223	1,225	1,210	1,198	1,187	1,160	1,151	1,153	1,158
もち米		22	18	15	14	13	12	11	9	12	10
合 計		1,276	1,241	1,240	1,224	1,211	1,199	1,171	1,160	1,165	1,168

JAうおづ資料より

ゆうだい21

宇都宮大学が開発し、大粒で甘みが強く、冷めても粘りがあるのが特徴です。近年の食味コンクールで上位を占め「奇跡の米」と呼ばれています。草丈が長く倒伏のリスクがありますが、猛暑でも高い品質が維持できます。県内ではJA富山市、JAアルプス、JAうおづで栽培されています。

富富富

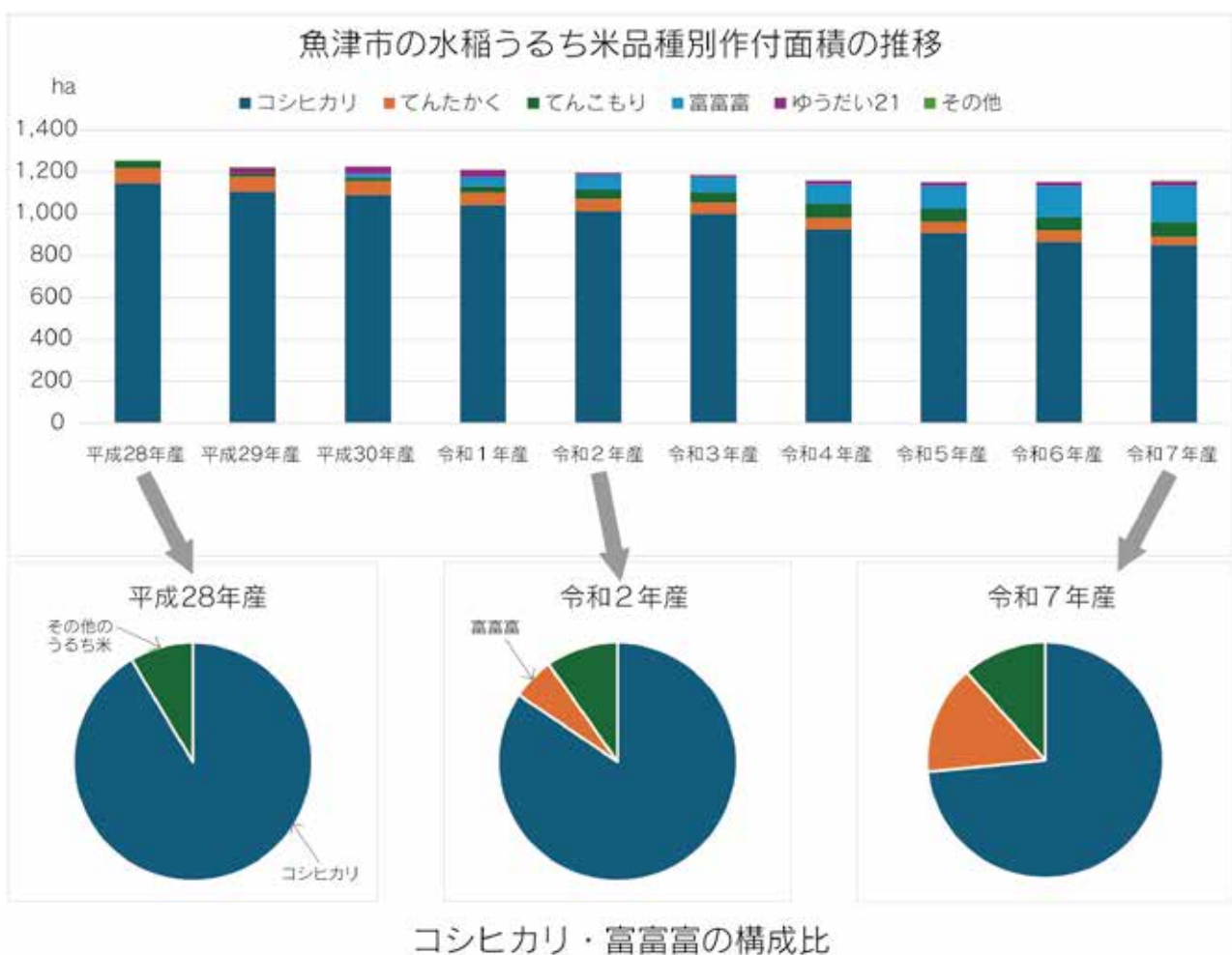
富山県で開発されたブランド米です。コシヒカリの美味しさを持ちながら、コシヒカリよりも高温に強く、草丈が短いため倒伏しにくいというえ、いもち病にも強いので農薬の使用量が低減できるといった栽培しやすい特長を持っています。生産者を登録制とし、徹底した栽培管理により安全・安心も追求しています。

魚津市では富富富の作付面積が増加

魚津市の水稻作付面積は平成28年から令和7年の10年間で直近2年は主食用米の不足から横ばいですが、毎年1%ほど緩やかに減少しています。平成28年のコシヒカリの作付面積は1,146haでうるち米に占める構成比は91.4%と非常に高くなっていました。富富富がデビューした平成30年の作付面積は19haでしたが、徐々に作付面積を増やし、令和7年では174haとなっています。うるち米に占める構成比は15.0%と富山県平均の8.1%よりも高くなっています。てんたかく、てんこもりを合わせた割合は10%弱と10年間であまり変化はありません。コシヒカリが73.4%と10年前に比べ18.0%減少しており、富富富に作付けが移行していることがわかります。JAうおづでは、富富富の作付面積を令和9年までに200haにしたいと考えています。

また、ローソンとの契約栽培を受け、JA全農とやまから依頼を受けているゆうだい21は、平成29年を作付け初年度として3年間の優遇措置があったため、令和1年の作付面積は32haに増えました。しかし、令和2年に優遇措置が終わったことから12haと大幅に減少しました。その後は作付面積を徐々に増やし、令和7年は21haとなっています。

かつては1軒の農家でいくつかの品種を栽培していました。しかし、現在は規模の小さい農家では自家飯米や作業効率を念頭にコシヒカリを単一で作付けしているようです。富富富が作付面積を増やして、以前のコシヒカリ一辺倒といえる状況からは変化があるものの、まだまだコシヒカリが主力となっています。今年の作柄は平年並みが予想されていますが、温暖化に歯止めがかからない中、さらなる高温に耐性を持たない品種にこだわり続ければ、低品質のコメが増えたり収量が減ったりするリスクは高まるのではないのでしょうか。



Women's division 女性部

第5回・第6回JAうおづ女性大学

11月20日に第5回、12月2日に第6回のJAうおづ女性大学と閉講式が開催されました。今回は2回にわたり、講師に団道子氏を招き着物のリメイクを行いました。着物を着る機会が少なくなり、眠らせてしまうのももったいない着物を普段使いのできる『もんぺ』や『ワイドパンツ』にリメイクしました。受講者は、素敵な作品が出来上がり、「どこへ着ていいかなあ」と嬉しそうに話していました。



JA県女性大会

11月29日、第71回JA富山県女性大会・第69回JA女性活動実績発表大会・第70回富山県家の光大会が県JA会館で開催されました。JA女性活動実績発表のほか、家の光記事活用体験発表や家の光普及・文化活動発表の発表会が実施されました。その後の講演会では、第57次南極地域観測隊の渡貫淳子氏が、「南極での生活を日本で生かす食品ロス削減と防災への備え」と題して講演をされました。





上中島田んぼの学校 しめ飾り作り

12月6日、上中島コミュニティセンターで今年度3回目となる「上中島田んぼの学校」が開催されました。今回はしめ飾り作り教室が行われ、星の杜小学校児童とやよい会、上中島老人クラブ、社会福祉協議会、地域住民らが参加しました。参加者は地域の方々に作り方を教わりながら、9月13日の収穫体験で刈り取った稲



わらを材料にしてしめ飾りを作りました。慣れない作業に苦戦しながらも、形を整えて水引などの縁起物を付けて見事にしめ飾りを完成させました。参加者は正月に飾るのを待ち遠しそうにしていました。



市内の小中学校に糖度計贈呈

11月26日、JAうおづの松崎映憲組合長は山瀬敬魚津市教育長に糖度計の贈呈を行いました。食育に関して、果物の糖度など、数値を通して知ることは大きな教育的効果があります。JAうおづでは市内の小中学校に13台の糖度計を贈りました。12月2日の学校給食で魚津りんごが出されるので、早速計測してみたいとのことでした。



糖度の測定



左から山瀬教育長、松崎組合長、高島常務理事

りんごを収穫したよ 魚津市親子体験会

魚津市では「うおづの農林水産業を学ぼう」と親子体験会を開催しています。今回は11月29日に魚津市六郎丸の園地で、



りんごを調べてみよう

りんごの収穫体験を行いました。当日は親子3組6名が参加し、りんご園の園主である伊東康彦さんから説明を受けながら「ふじ」の収穫を行いました。その後、はかりでりんご

の重さを計測したり、大きさやきずの有り無しなどで分ける選果作業を行ったりしました。また、糖度計を使って糖度も調べました。参加した児童からは「高い所の実を取るのが大変」「りんごが甘くておいしい」といった声が聞かれ、保護者からは「収穫だけでなく、調査や説明があつてよかった」といった感想が聞かれました。



たくさん実っているね

「年の始まりに整う」

春の七草でわたしリセット

お正月のにぎやかさが落ち着いたら、ほっとひと息。春の七草で、体も気持ちも整えてみませんか？

日本に受け継がれてきた草木活用の知恵にならいつつ、七草を使った新しいセルフケア方法をご紹介します。

監修：平川美鶴（一般社団法人 和ハーブ協会）
イラスト：小林裕美子



春の七草図鑑

一般的に「春の七草」と呼ばれている七つの植物をご紹介します。これらはビタミンやミネラル類、食物繊維、香りなどの有効成分を豊富に含む「和ハーブ」（日本古来の有用植物）であり、私たちの足元の宝ものです。



セリ

競り合うように生える様子が名の由来で、春に香りを増します。根にも栄養と香りがあり、東北地方では鍋の具の定番になっています。



ゴギョウ（ハハコグサ）

小さく黄色い球が集まったような花が特徴です。中国では香りが邪気をはらうとされていて、かつては草餅に使われていました。



ナズナ

果実の形が三味線のパチに似ているため「ペンペン草」とも呼ばれます。ワサビと似た芳香を持ち、程よい辛さやうま味があります。



ホトケノザ（コオニタビラコ）

紫色の花を咲かせるホトケノザとは別種で、タンポポに似た黄色い花が特徴です。葉は天ぷらなどにもおすすです。



ハコベラ

名前の由来は「はびこる・栄える」から。ハコベラの生薬は古くから利尿・催乳作用があり、歯槽膿漏（しそうのうろう）も防ぐとされています。



スズシロ（ダイコン）

ダイコンの若葉です。有機硫黄化合物を多く含み、体のエネルギー代謝を活発にするといわれています。



スズナ（カス）

カブのことです。胚軸が鈴の形に似ているため、この名前が付けられたともいわれています。葉にはベータカロテンやビタミンCが豊富です。

※春の七草を取るときは、私有地や保護区域に入らず、似た植物と間違えないように注意し、必要な分だけを清潔な場所で取りましょう。

七草がゆだけじゃない!

年末年始の疲れも癒やす

七草を使ったセルフケア新提案



春の七草は、七草がゆ以外にも楽しみ方がたくさん!

JAの直売所やスーパーなどで簡単に入手できる、七草セットを使ったセルフケア方法をご紹介します。



ふりかけや調味料

七草セットの余りで食欲アップ

乾燥させた七草を使います。七草と干切ったのり、塩をお好みの量混ぜてふりかけに。七草と乾燥させたユズやミカンの皮をミル(粉碎器)にかけ塩を混ぜれば、天ぷらや刺し身の付け塩に。七草とすりごまや唐辛子粉、粉ざんしょうを混ぜれば料理の味を引き立てる十味唐辛子になります。



和風ジエノベーゼ

疲れた胃腸を労うソース

七草に含まれるビタミンやミネラルで体調を整える効果が期待できます。パスタに絡めたり、バゲットに塗っておつまみにも。七草(葉の部分のみ)、大葉(10~15枚)、マツの実(10粒)、ニンニク(2片)、塩(小さじ1)、オリーブ油(30ml)を全てフードプロセッサーにかけ、ペースト状にします。



七草バスビネガー

手軽に作れるさっぱり入浴剤

肌触りが柔らかく、さっぱりとした気分になれる入浴剤です。

- ①洗って水気を拭いた七草を保存用瓶に入れ、酢をひたひたに加えてふたをする。ときどき瓶を振って、2週間置く。
- ②家庭用バスタブにお湯をためて①の液を200ml入れ、よくかき混ぜて入浴する。

※けがや皮膚疾患のある方は使用する前に医師などに相談してください。



七草温湿布

優しい香りと温かさに癒される

草の上に寝転んだような懐かしい香りがする温湿布です。

花粉症や風邪で鼻水がつらいときにおすすめです。

- ①七草を乾燥させ、袋(市販のお茶パックなど)に詰める。
- ②鍋に500mlほどの水を入れて沸かし、①を入れて10分ほど煮出す。タオルを浸し、やけどに注意して絞る。
- ③鼻腔の周りや後頭部などにタオルを当てて温める。

※タオルの色移りにご注意ください。

日本と中国の風習が融合し、七草を食べる文化に

もともと日本には新しい年の初めに若菜を摘み、野菜や肉を煮込んで作る汁物「羹(あつもの)」にして食べる風習がありました。江戸時代になると、五節句の一つ、1月7日の「人日(じんじつ)」の日に7種類の草が入ったかゆを食べる中国の風習と融合し、現在の形になったようです。

七草は冬場に不足しがちな青菜類を摂取する貴重な行事食でした。温かく優しい味わいで消化もしやすいため、現代でも冬の体調を整えるのにぴったりです。生命力あふれる七草の芽吹きに感謝しながら、一年の無病息災を願って七草を活用しましょう。



（ありそ年金友の会 日帰り旅行）

11月4日(火) 善光寺&戸隠&人気のサンクゼール・ワイナリー
参加人数39名



（経田年金友の会 旅行）

11月19日(水)～20日(木) 月岡温泉方面
参加人数31名



（しんきろう年金友の会 旅行）

11月26日(水)～27日(木) 伊勢神宮&なばなの里と鳥羽
参加人数24名

行事予定

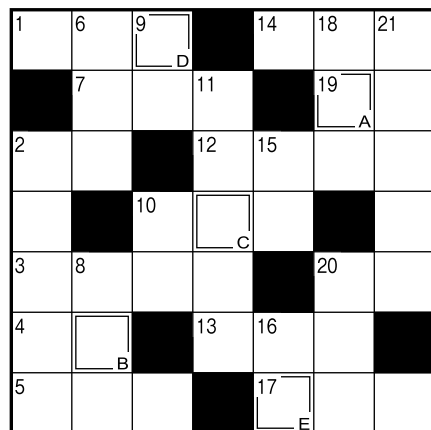
1/28(水)	魚津地場産直売倶楽部 第26回定期総会【営農・経済センター】13:30
2/14(土)	食と農を考える集い【県JA会館】10:30~15:00



Crossword puzzle

ちょっと一息、頭の体操！

クロスワードパズル

クロスワードを
解いて賞品GET!!全部の文字を埋め、A~Eの二重ワクの
文字を並べてできた言葉が答えです。応募者2名様に抽選で、
鍋つゆセットを
プレゼント!!12月号・新年号の
答えと当選者は
2月号で発表します

ヨコのカギ

- ①正月に食べる、モチ入り汁物といえば
- ②どら焼きに挟み込まれているもの
- ③おせち料理の定番の一品。卵が材料の一つ
- ④交差——、及第——
- ⑤右手が——、という人が多数派です
- ⑦本を読み終えること
- ⑩ガラガラとのどを洗います
- ⑫旅立つ人の——に駅のホームまで行った
- ⑬ワラや木やレンガの家を建てる童話があります
- ⑭漢字で書くと百足。足の多い生き物です
- ⑰椅子のこと。ロッキング——
- ⑲アルカリと混ぜると中和します
- ⑳焚くとよいかがおりが広がります

タテのカギ

- ②メレンゲを作るときに使う道具
- ⑥鍋料理の締めにも使う麺
- ⑧晴れかなあ、雨かなあ
- ⑨牛、豚、鶏のものがよく流通しています
- ⑩令和8年の干支です
- ⑪歯ブラシにつけます
- ⑮自分の兄弟姉妹の息子
- ⑯ダルメシアンは——模様の犬です
- ⑱書初め大会で——に選ばれた
- ⑳受験生が空欄に書き込んでいくもの
- ㉑単位はアンペアです

クロスワードパズル・おたより募集!!

2月号のテーマ「子どもの一言」

子どもの何気ない一言に、思わず笑ってしまったことや嬉しかったこと、気づきを得たことはありませんか。子どもの発言は奇想天外で面白いものです。そんな心に残った「子どもの一言」をお待ちしております！

応募方法

郵便はがきに、①クロスワードパズルの答え、②おたよりコーナー「テーマ」または「フリー（ご意見・ご感想など）」、③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて送ってください。

※おたよりコーナーへの投稿がなくてもクイズの応募は受け付けます。
※おたよりコーナーで紹介させていただく場合、フルネームでの掲載となりますので、ペンネーム希望の方はペンネーム等の記入もお忘れなくご記入ください。※投稿すべてを紹介できない場合がありますのであらかじめご了承ください。
(1月18日消印有効)

937-0066

魚津市北堀江
360

JAうおづ編集部

①クロスワードパズルの答え

②おたよりコーナー「テーマ」または「フリー」

③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号

人事異動

(令和7年12月8日付)

新	氏名	旧
営農経済部農機具センター所長	谷口 智朗	営農経済部農機具センター所長代理
営農経済部経済課長代理 (課長待遇)	天野 賢一	営農経済部農機具センター所長

魚津米

新発売

コシヒカリ パックごはん

1個 167円

180円(税込み)



<お問い合わせ先>

魚津市農業協同組合

経済課

電話 0765-24-9927

●編集後記 春の七草はセリ(芹)・ナズナ(薺)・ゴギョウ(御形)・ハコベラ(繁縷)・ホトケノザ(仏の座)・スズナ(菰)・スズシロ(蘿蔔)の7種類です。スズナは蕪、スズシロは大根です。蕪、大根の他は芹くらいしか食べたことがありませんが、三日におせち料理やごちそうが続くと、1月7日には七草がゆでも食べて、おなかの調子を整えたいですね。今年も一年無病息災を願って頑張りたいものです。(清河)

24時間受付・年中無休

葬儀・法要のことなら 安心と信頼の

JAうおづ葬祭事業

TEL(0765)23-0271

(またはフリーダイヤル 0120-293-039) 担当: 藤田



JAうおづ

正組合員戸数/2,209戸 准組合員戸数/2,918戸 正組合員数/2,395人 准組合員数/4,091人 (令和7年11月末現在)

東部支店 Tel.22-0695 北部支店 Tel.22-0387

経済課 Tel.24-9927 営農企画課 Tel.24-9923

JAうおづ <https://www.ja-uozu.jp/>



公式HP



Instagram



X (旧Twitter)



青壮年部

